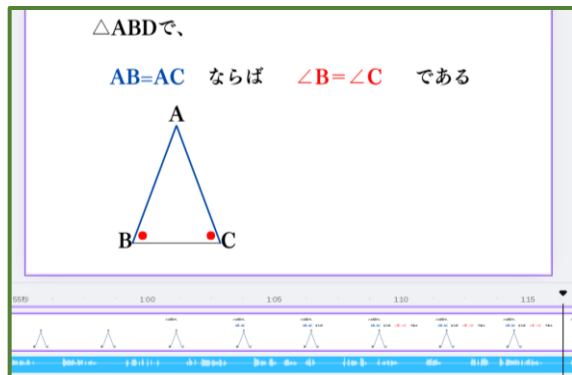


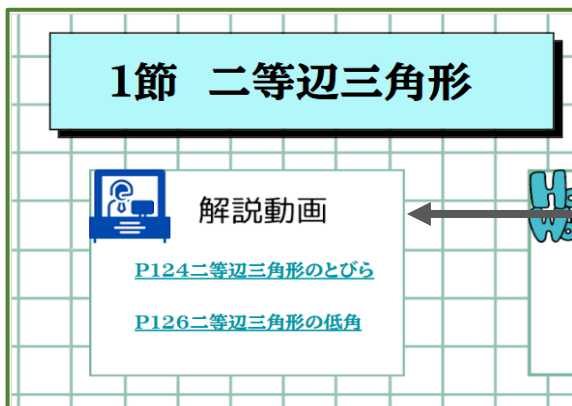
リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄中学校（佐賀県）【指定校】

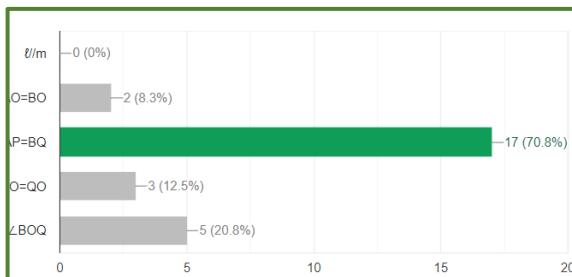
【取組内容】 予習動画をクラウドで共有し家庭でも視聴可能に



Webデザインツールによる予習動画作成

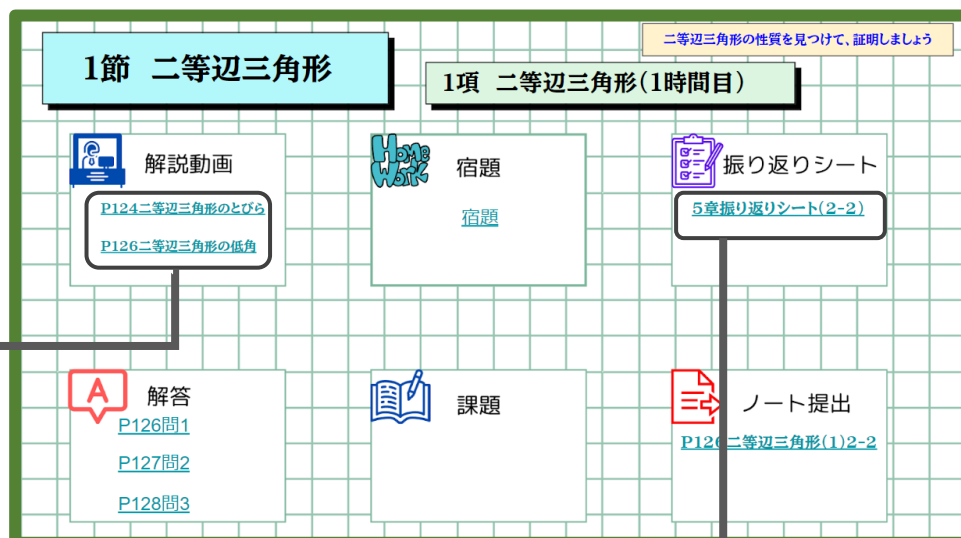


クラウドで共有している解説動画

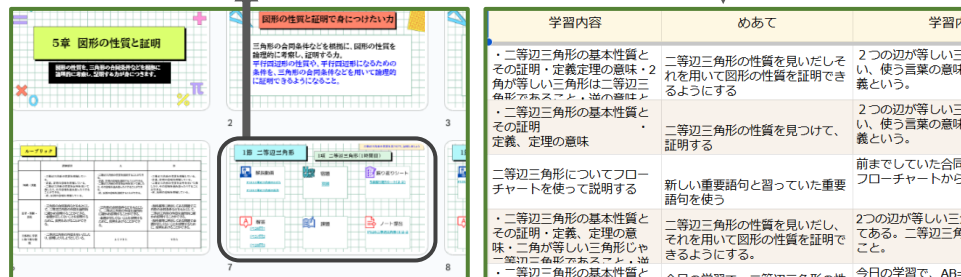


予習による理解度の把握結果

- 家庭学習の時間が少ないという本校の課題を解決するために、予習をして授業に取り組むスタイルを取り入れた。
- 教科書だけではなく、予習動画も作成して、「言語優位」、「視覚優位」など、生徒が自分の特性に応じて予習できるように、方法を複数提供した。
- 予習による理解度は、フォームで事前に確認し、必要に応じて、支援を行った。
- 予習をもとに、生徒が自分で本時のめあてを設定し、主体的な学びにつなげた。



本時の学習の流れ



単元全体の学習の流れ

振り返りシート

生徒は、学習内容の予習をもとに、めあてを自分で決めて入力してくる。授業後には、振り返りシートに「学習内容」「学習方法」の2面から記入する。

単元の流れは、スライドで生徒に事前に配布している。生徒はこれを見て自分で見通しを立てて学習ができる。